学校番号	414

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	第一学習社　高等学校 改訂 地学基礎（地基 310）						
副教材等	第一学習社　改訂　ネオパルノート地学基礎						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

我々の住む地球の成り立ちや構造、地層や地球を取り巻く大気、宇宙について学び、科学的にとらえることができるような授業を展開します。

2 学習の到達目標

・日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める
・目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てる。
・地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・地球や宇宙に関する現象に興味・関心を持っているか。 ・意欲的に課題に取り組む態度があるか。	・課題を論理的に思考・判断できるか。 ・地球や宇宙に関する現象を的確、簡潔に説明することができるか。	・実験や実習の操作を習得しているか。 ・推論、実験、検証の過程で科学的な考え方・方法を用いているか。	・地球や宇宙に起こる現象についての概念や原理、法則の基礎的な知識が身についているか。
評価方法	・授業観察 ・グループ活動での参加する態度や発表の様子 ・提出物の記述	・授業観察 ・提出物の記述 ・定期考査の結果	・授業観察 ・実験・作業の様子 ・提出物の記述	・授業中の発問 ・提出物の記述 ・小テストの結果 ・定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	**活動する地球**	**地球の姿**	○	○		○	a:地球・プレート・地震・火山などに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 b: 地球・プレート・地震・火山などの課題を簡単な図を使い、簡潔に表現・説明することができる。 c:ばねを用いた実験から縦波・横波を理解し、Ｐ波Ｓ波や地球の層構造を理解している。 d:地球についての 概念や原理・法則を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
		火山活動と地震	○		○	○		
2学期	地球の熱収支	地球の熱収支			○	○	a:大気と海洋に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 b: 大気と海洋を簡潔に表現・説明することができる。 c:新聞の気象データを用いた実習を通じて日本の気候を理解している。 d: 大気と海洋についての概念や原理・法則を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
		大気と海洋の運動	○	○		○		
	地球の環境	**地球環境の科学**	○	○			a:地球の気温上昇、オゾン層の破壊について関心をもち、地球温暖化などの地球の環境変化について意欲的に学習しようとしている。 b: エルニーニョ現象などが発生したときに、日本の気候に与える影響を考察することができる。 d: 日本のエネルギー資源，気団や日本の天気の特徴，集中豪雨や台風、地震動・津波による災害、地震の予測、火山の恩恵と災害について理解し、知識を身に付けている。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
		日本の自然環境	○	○		○		
3学期	**宇宙における地球**	**宇宙の構成**	○	○	○		a:宇宙に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。 b:宇宙について、簡潔に表現・説明することができる。 c:ナトリウムランプを用いた実験からスペクトルの種類やフラウンホーファー線を理化している d: 宇宙についての概念や原理・法則を理解している。	授業観察 提出物 小テスト 定期考査
		太陽		○		○		
		太陽系の中の地球	○			○		

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。